



# 福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2014

3月1日号

139  
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

## 小さな命



副会長 遊 佐 烈

一月の日曜日、買い物のため郊外の大型スーパーに車で出かけた。雪こそ降っていないが寒いので、車の中も直ぐには暖まらない。バイパスを走っていた時のこと。道路脇に小さな犬がうずくまっているのが見えたが、後ろから車が多数来ており止まることが出来ず、目的のスーパーまで行き食料品等の買い物をしていたが、ずっとあの子犬の姿が気になって買い物どころでは無かった。早々に切り上げて子犬がいた所に向かい、少し離れた安全な所に車を止め傍に近寄った。子犬に見えたが実はタヌキであった。交通事故に遭ったのだろうか車の行き来が多い道路の端で動けず、必死に前足2本で起き上がり寒さか、人間に対する恐怖心のためか、プルプル小刻みに震えているが、私を見つめる目は助けを求める寂しそうな目に見えた。“どうしよう！子犬だと思ったけどタヌキ 交通事故にあったのだろうか後ろ足が変だ”車に戻り買い物かごの中身を出し、タヌキのもとに戻りなんとか買い物かごにタヌキを移した。

一瞬逃げようとしたが動けず、鳴き声もあげずにじっとしている。車の中は暖かく私自身ホッと、きっとタヌキも暖かいはずだと思いついた。動物病院に連絡してみたが、「先生は臨時手術中で対応出来ない 自然の動物なので県鳥獣保護センターに連絡してみても？」との事なので鳥獣保護センターに連絡し、対応して貰えることになった。県民の森の中にあるとの事で、迷いながらもやっとセンターに到着。運転中何度か様子を窺い、生きていたことを確認。到着した時、タヌキはまた前足立ちになり私を見つめていた。女性職員が直ぐに処置室に連れて行った。「後足を骨折しているようですが、獣医がいないので明日処置するようになります。」と言われ帰って来た。

火曜日になりタヌキのことが心配でセンターに電話してみた。「残念ながら脊椎骨折もあって翌日に死亡しました」との返事。センターに着いた時、前足を立てて私をジッと見つめた顔と寂しげな目が忘れられない。

野生動物たちとの接点も昔よりは少なくなったのかもしれないが、人間社会の発達の結果、動物たちの安全な生活が脅かされている。野生動物たちの事故は人間の豊かさ、便利さゆえの代償かも知れない。便利さや豊かさを求めるのは間違いでは無いが、誰もが安全に生活出来る必要がある。

人間が勝手に想定した以上の津波で起こった原発事故。汚染された土地に生きているのは人間だけではなく野生動物も一緒である。山に住む彼らは未だに汚染された土地で生活し、子どもを作り、汚染された山の物を食べているのかも知れない。野生動物だからどうなっても構わないという事は無い。人間たちの犠牲になっているのであり、人間も野生動物も同じ生きる物として、後世のために安全を繋いでいく義務がある。

福島の放射能汚染を同じ生きる物として元に戻して貰う必要があるし、安心して生活出来る土地に早く戻して貰いたいものである。

最後に車を運転される貴方に一言、時々道路で動物たちが犠牲になっているのを目にします。もう少しスピードを落として飛び出してくる動物にも対応して頂けないでしょうか。道路脇にプルプル震えながら動けなくなり、ただジッと死を待たせるのは辛すぎます。

## 平成25年度活動報告

### ● 精度管理委員会

委員長 佐藤政春

#### ・平成25年度 第1回精度管理委員会

日 時：平成25年6月22日

会 場：福島テルサ 3Fあづま

出席者 佐藤政春、角浜憲孝、佐竹一博、加藤利夫

欠席者 渡部郁夫、古川 徹、篠原宏幸、星 寿郎、

池田昭文

#### ・X線アナライザー取扱簡易マニュアル作成

(佐藤政春、加藤利夫、古川 徹)

#### 1. マンモ編、(乳腺画像研究会)

#### 2. 一般撮影編 (精度管理委員会)

#### 3. CT編 (CTビギナーズ)

#### 撮影装置・精度管理事業報告

平成25年7月24日 町立三春病院 一般撮影室

平成25年8月24日 町立三春病院 透視撮影室

平成25年9月11日 町立三春病院 ポータブル装置

平成25年11月21日 星総合病院 一般撮影室

平成25年11月21日 星総合病院 一般撮影室

平成25年11月21日 星総合病院 一般撮影室OP

平成25年11月21日 星総合病院 ポータブル装置

平成25年11月12日 日東病院 一般撮影室

平成25年11月28日 白河病院 一般撮影室

平成25年12月13日 白河厚生病院 一般撮影室

### ● ネットワーク委員会

委員長 菅野和之

#### 1) ホームページ更新作業

福島県診療放射線技師会ホームページを公益社団法人化に伴い6月に全面リニューアルして、装いを新たに再出発いたしました。その後部分的に修正を加えております、1つは測定機器の貸し出しについて、従来は漏洩線量測定用の電離箱サーベイメータのみの掲載でしたが、技師会により整備されたGMサーベイメータ、シンチレーションサーベイメータに加え、新たに購入したX線アナライザ・ピラニアの4種の測定器の貸し出しに対応すべく、修正を行っております。貸出希望の方はホームページ上から問い合わせが出来るようになっておりますので、ぜひご活用ください。

2つ目は24年度にホームページ用サーバーの変更を行った際にホスティングサービスの付帯機能としてメーリングリスト機能があり、今までなかった各地区単位でのメーリングリストを立ち上げ各地区協議会の委員

の皆様へ提供し、使用していただいております。会員の皆様と直接触れる機能ではありませんが、各地区役員間での連絡が密になったと思います。

#### 2) メールマガジンの発行

4月よりメールマガジンの発行を開始いたしました。現在はホームページ更新案内の発行が主ですが、今後幅広い情報を皆様にお知らせすべく活用してまいりたいと思っておりますので、ぜひ情報がありましたらお知らせください。登録方法はニュース等でお知らせしておりますのでご参照ください

#### 3) 今後の対応

現在進めている作業として、公益社団法人として一般に公開しなければならない項目がいくつかあります。例として役員名簿、定款・諸規定集、活動記録等についてホームページのトップから見られるようにしなければならず、現在その作業の準備中です。完成次第公開をいたします

また、県内各施設の求人情報の掲載も随時行ってまいりますのでこちらも準備中ですので完成、掲載までもう少々お待ちいただければと思います。

今後も県民の皆様、会員の皆様へ広く情報を提供してまいりますのでホームページのチェックをお願いいたします。

### ● 学術委員会

委員長 新里昌一

#### ・第1回学術委員会 (合同委員会)

日 時：平成25年6月22日 (土曜日) 14:00-16:00

場 所：福島テルサ 3階 会議室

内 容：活動方針、業務内容の協議

県学術大会内容・講演者・座長の選考作業

学術メーリングリストで、内容について数多くの議論をして決定する。

#### ・第3回東北放射線医療学術大会

日 時：平成25年11月1日 (金曜日・前日準備)

13:00-21:00

11月2日 (土曜日) 10:00-20:00

11月3日 (日曜日) 9:30-15:00

場 所：コラッセふくしま 3階・4階・5階

県学術委員会も積極的に支援を行う。

第3回東北放射線医療学術大会の後抄録の回収

県内からの発表者60名に対してメールで依頼して、何とか1月末に回収済み。

編集委員に、学術委員長挨拶とシンポジウム前抄録等と供に送る。

県学術大会の運営・準備

学術メールングリストで、運営・担当・準備について数多く検討する。

・福島県診療放射線技師学術大会

プログラムの印刷・編集作業

日 時：平成26年1月20日（月曜日）17：00-18：30  
（印刷作業）

日 時：平成26年1月21日（火曜日）18：00-19：00  
（編集作業）

場 所：太田西ノ内病院

サブライセンター及び5号館奥ラウンジ

・第2回学術委員会

（福島県診療放射線技師学術大会プログラム発送作業）

日 時：平成26年1月24日（金曜日）15：00-17：00

場 所：太田西ノ内病院 2号館小会議室

学術委員と第一三共スタッフで配送作業、その後  
大会最終打ち合わせ 垂れ幕確認等

・平成25年度 公益社団法人福島県診療放射線技師

学術大会準備

日 時：平成26年2月1日（土曜日）15：00-17：00

場 所：星総合病院ポラリス看護学院メグレズホール

学術委員及び実行委員（星総合の有志）

公益社団法人福島県診療放射線技師学術大会

日 時：平成26年2月2日（日曜日）9：00-17：00

場 所：星総合病院ポラリス看護学院メグレズホール

学術委員及び実行委員（星総合と県南地域の有志）

・学術奨励賞の選出

今回は学術大会が講演のみのため、第3回東北放射線医療学術大会で発表した会員を対象に行なう。

実行委員に対して、メールングリストで選出を依頼し回収中である。

● 編集広報委員会

委員長 平井和子

・会議 委員会

平成25年度 第1回 編集広報委員会

日 時：平成25年6月22日 14時～16時

場 所：福島テルサ

25年～26年度の活動予定について協議

・活 動

「福島放技ニュース」の発行

25年6月28日 135号

8月31日 136号

10月31日 137号

26年1月1日 138号

3月 139号発行予定

公益社団法人設立（創立65周年）記念

「公益社団法人福島県診療放射線技師会会員名簿」

の発行 10月31日

「定款・諸規定集」の発行 10月31日

「会報」の発行 年度末に発行予定

## 学 術 講 演 会 開 催

去る2月2日(日)郡山市のポラリス保健看護学院メグレズホールにて学術講演会が開催されました。

今回は、一般講演、特別講演、シンポジウムの3部からなる構成で、一般演題の発表はありませんでした。開会式の中で表彰式が執り行われ、平成24年度の学術大会での演題の中から大河内 徹氏（太田西ノ内）、吉田 賢氏（白河厚生）のお二人の方が学術奨励賞を受賞されました。また、特別賞を大坊元二氏（元奥羽大）が受賞されました。

平成25年度

大坊氏は、震災後の郡山市内幼稚園園庭の放射線汚染を独自に調査し、汚染度の高い地形など傾向を取りまとめ、演題として発表されたことによる受賞です。氏は、県南地区の勉強会、情報交換会へも積極的に参加され、幾つになられても変わらぬその探求心に、只ただ敬服す



学術奨励賞、特別賞を受賞して  
(左から大河内氏、大坊氏、吉田氏)

るばかりです。

受賞された皆さまおめでとうございます。今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。

公益法人に移行して初めての開催となった、一般講演の講師に「福島ユナイテッドFC」の鈴木勇人代表をお招きし、「Jへの挑戦！ 福島ユナイテッドFC」～Jクラブが地域にもたらす効果～をテーマにご講演頂きました。新里実行委員長から座長集約を頂きました。

ランチョンセミナーでは、「乳腺MRIの現状と展望」と題し、八重洲クリニック技師長の田淵隆先生にご講演頂きました。福島県立医科大学病院 清野真也氏の座長集約と併せてご覧下さい。

午後からは「読影について」のシンポジウムを行いJARTの取り組み、施設での取り組みなど講師からの講演を基に参加者が共に考えました。

「画像診断における読影の補助について」

加藤京一 先生（昭和大学大学院保健医療学研究科）

「救急領域における読影の保持の実践」

宇内大祐 先生（聖路加国際病院）

「読影補助のスキルアップに向けての取り組み」

坂下恵治 先生（りんくう総合医療センター）



(写真左から加藤氏、宇内氏、坂下氏)

## 一般公開講演会 「Jへの挑戦！ 福島ユナイテッドFC」

福島ユナイテッドFC 鈴木 勇人 代表

座長 新里 昌一（太田西ノ内病院）

福島ユナイテッドFCは、福島県福島市を本拠地として、ホームタウンは、福島市を中心とした福島県全県になります。旧称はFCペラーダ福島で、鈴木代表が主将を務めていました。今年からJ3に昇格して、新たなJ

3と言うステージで戦うサッカーのクラブチームです。

クラブ名のユナイテッド（UNITED）は「結ばれた、団結した、統一した」の意味に由来し、チーム・選手・スタッフ・サポーターがひとつになって活動して行く事を意味しています。福島がひとつになって、福島の発展・活性化のために活動して行くことを目指しています。



(鈴木代表の講演タイトル)

鈴木代表は、チーム代表を務めると同時に一級建築士として設計事務所の代表取締役も務めて、全国・県内でも多くの建築賞を受賞しています。まさに文武両道で、自らハイブリッド経営者と称していました。

講演では、日本のサッカー界やJ3の概要、福島ユナイテッドの歴史等を説明して頂きました。震災で選手の退団があり解散の危機にあった話は、医療界でも医師や看護師の県外への避難と重なりました。

その逆境を乗り越えて再建し、県民の夢と勇気を与えるために頑張っている話には、深く感動しました。福島県に必要なチームになりたいという言葉は、技師会にも通じるモノがあります。我々も福島県に必要な技師会であるために、今後も進んで行きましょう。

今年度は、公益社団法人になり最初の学術大会でした。今までは2・3名の一般参加が12名に増えた事は良かったと考えています。良い講演だっただけに、本音はもう少し宣伝して40名程度を集めたかったです。

最後に、第20回東北ニュービジネス大賞に、鈴木代表が選ばれました。震災の影響を受けながら経営を再建、J3参入を果たし地域貢献に寄与した事が高く評価されました。

今後にご活躍を期待・応援しています。

## ランチョンセミナー

### 「乳腺MRIの現状と展望」

八重洲クリニック 田淵 隆 先生

座長 清野 真也 (福島県立医大附属病院)

第一三共 (株) 共催による特別講演には八重洲クリニック技師長の田淵隆先生をお招きして「乳腺MRIの現状と展望」と題しましてご講演をいただきました。

田淵先生は現在、つくば画像センターで臨床をこなしながら、病院の企画運営にも携わっておられ大変お忙しい中、来県頂いたことに感謝いたします。講演の中では乳癌の広がり診断が主であった乳腺MRIが、最近、乳

癌ハイリスクグループに対するスクリーニングに用いられるようになった背景やガイドラインについて紹介を頂きました。また八重洲クリニックで行っている乳房MRIのプロトコルの紹介、さらに撮影のポイントを分かりやすく説明頂き、新たに取り組んでいる任意型乳房MRI検診の現状についても紹介して頂きました。我々受講者にとっては撮影の基本から、今後の乳房MRIの用いられ方の可能性まで非常に興味を持てる内容でご講演頂いたと感じております。

ご講演の内容を日常の診療に反映させることによって先生への感謝の意に代えさせていただきたいと思っております。

## 地区だより

### いわき地区

「第21回 いわき地区画像研究会および新年会」開催

1月31日グランドホテルいわきにおいて、第21回いわき地区画像研究会および新年会が開催されました。

「ペースメーカーにおける放射線の影響について」と題して日本メドトロニック (株) 大庭弘昭先生に講演していただきました。



ペースメーカー、ICD、CRT-Dに影響を与える機器や、影響を受ける機器がどのような動作をするのか。また、何故そのような動作をするのかなどを詳しく教えていただき大変勉強になりました。

講演後は新年会が行われ、いわき地区画像研究会代表世話人鈴木氏の挨拶の後、おいしい料理を食べながら他の施設の方々との親睦を深めたのしい時間をおくりました。

(菅原)



### 県北地区

「勉強会・新年交流会」開催

平成26年2月7日(金)福島テルサにおいて県北協議会主催の「勉強会」が開催されました。今回の勉強会は「Let'sスタンダードプリコーション (標準予防策)」と題して、北福島医療センター看護師長の渡辺あけみ感染管理認定看護師に講演をしていただきました。感染予防の具体的な方法や取組みについて解説を加えながら丁寧に説明され、特に「感染は職種に関係なく医療従事者すべてが感染防止のための行動がとれていることが重要である」と語られました。終了後には「新年交流会」が行われ、平井和子協議会委員長、遊佐烈副会長より挨拶があり「技師会として会員や県民の皆さんに役立つ技師会であることが大切であり、これからもご協力をお願いしたい」との抱負が語られました。

懇親会では会員同士の様々な情報交換が行われ大変に盛り上がっていたようでした。(池田)

## 県南地区

「新年勉強会」・「新年情報交換会」開催

平成26年1月25日(土)ポラリス保健看護学院を会場に恒例となった「新年勉強会」を開催しました。

今回は、装置メーカー5社より講師をお招きして、「CTコログラフィーについて」とのテーマで講義を受けました。前処置から検査での工夫までメーカーのプレゼンに偏ることなく、内容が重複することも無く充実した内容でした。参加者からは、自施設の取り組みも聞けましたし、導入を検討している施設からは、具体的な質問もあり、関心の高さが伺えました。

勉強会終了後場所を移し、「新年情報交換会」が開かれました。施設の垣根を越えて談笑する会員のさも楽しそうな表情が印象的でした。

担当役員の皆さん、ありがとうございました。今回参加できなかった、県南地区のみなさん、楽しいから是非来て下さいね。次は「サマーセミナー」と「ピア・パーティー」ありますから。もちろん県南以外の地区の方、大歓迎です。(白石)

## ～お知らせ～

・ネットワーク委員会より

### メールマガジン登録方法の案内

メールマガジンの配信を希望する方は

fart@star7.jp

に空メール(件名・本文なし)を送信してください。登録完了メールが届きます。以上で登録完了です。

メールマガジンでは、分科会、勉強会、学術講演会、地区行事開催案内等のお知らせ、また緊急に会員の皆様にお知らせする内容などについて配信いたします。

・精度管理委員会より

～放射線測定器の貸し出し申し込みについて～

放射線測定器を借りる場合の申し込みは、福島県診療放射線技師会ホームページ会員専用情報からお申し込み下さい。

・平成26年度 総会のお知らせ

当日のスケジュールを掲載致します。会員の皆様方の多くのご出席をお願いします。

なお、詳細は会告として会報に掲載されます。

### 第69回(平成26年度)

## 公益社団法人福島県診療放射線技師会 定時総会

期 日：平成26年5月24日(土) 13時30分より

場 所：ホテルニューパレス

福島県会津若松市中町2-78

TEL：0242-28-2804

### プログラム

13:30 受 付

14:00 開 会

14:10 学術委員会分科会及び部会活動報告

15:15 開 場 一般公開

15:30 特別講演

「食品をはじめとした

様々な放射能測定の実際」

講 師：キャンベラ社

技術部ソリューションビジネス課長

鈴木敦雄 氏

16:45 総 会

## 編 集 後 記

今年は、雪が少なく春の訪れも早いのかな、と思っていた矢先での大雪。しかも2週にわたり週末のドカ雪。県内大混乱でした。被害を受けた皆さまにお見舞い申し上げます。

1年を通してこのニュースに携わってきました。このニュースを通して会員の皆さまにお届けした情報は、如何でしたでしょうか？

情報発信はネットワーク委員会が構築しているHPと車の両輪!?のつもりで、これからも「ニュース」発刊、頑張ります。(白石)